

図書館って面白いね

5月24日、図書館まつりが初めて開催され、会場となった図書館には大勢の親子連れが来場しました。

このイベントは「図書館に関心を持ってもらい、多くの方に利用してもらいたい」という思いで行われたもの。来場者は移動図書館を見学したり、昔の子どもの遊びを教してもらったりと、普段では味わうことができない体験を楽しんでいるようでした。また、この日は工藤市長も参加。自ら子供たちに絵本の読み聞かせを行い、本を読むことの楽しさを伝えていました。



総勢813人で描いた、壮大なアート

種類の異なる稲で図柄を描く田んぼアート。その制作に欠かすことができない田植え作業が、6月13日・14日に行われました。

今回のテーマは「未来へつなぐ古の軌跡」。ボランティアや一般参加者総勢813人が、7種類の稲で図柄となっている子供たちやはやぶさなどを描きました。今年は2年ぶりにギネス世界記録の認定審査を受ける予定です。なお、見ごろは7月中旬から10月中旬まで。月日の移り変わりで異なった表情を見せる姿を、ぜひ古代蓮会館展望室からご覧ください。



菊苗の無料配布に長蛇の列

6月2日、郷土博物館の玄関前で菊苗が無料で配布されました。

この日、配布された菊苗は約3,000本。配布が始まる午前9時を迎えるころには、忍城址の東門付付近まで長蛇の列ができていました。苗を受け取った方は「きれいな花が咲くように、大切に育てていきたいです。今からどんな花が咲くかとても楽しみです」と話し、満足した様子で会場を後にしていました。



ポタリングやウォーキングを楽しむルートが増えました

忍川・さきたま調節池(旧忍川)・酒巻導水路に水辺の遊歩道や休憩スペースなどを整備し、市内に点在する観光資源をつなぐことにより、まちなかにぎわいを創出する「川のまるごと再生プロジェクト」。平成25年度からこれら3つの川をつなぐ遊歩道を整備してきましたが、このたび忍川の勝間橋から野合橋までの区間の工事が完了し、ポタリングやウォーキングを楽しむルートがまた一つ増えました。

さきたま古墳公園や古代蓮の里に行く際は、きれいに整備された忍川沿いの遊歩道を利用してみてはいかがでしょうか。



狂言の世界を堪能

6月6日、産業文化会館ホールで「万作・萬斎狂言の会行田公演」が行われました。

去年に引き続き、今年も人間国宝である野村万作さんと映画「のぼうの城」で成田長親を演じた野村萬斎さんらが出演しました。冒頭では、萬斎さんが演目「附子」「六地藏」に出てくる言葉を解説。「附子」の登場人物のせりふを観客と掛け合うなど、狂言の楽しみ方を伝えました。その後披露された演目では、演者が豊かな表情と滑稽な仕草で笑いを誘い、会場を沸かせていました。



より魅力的な店へリニューアル

5月30日に教育文化センターみらいで営業している「福祉の店きゃんばす」がリニューアルオープンしました。

障害者の手作りお菓子やアクセサリなどを販売する同店。ものづくり大学の学生の協力のもと商品棚やレジ棚などを一新し、より使いやすく温かみのある店へと生まれ変わりました。営業時間は火曜日から金曜日の午前11時から午後3時までです。ぜひ足を運んでみてください。



軽トラ朝市と緑のカーテン用の苗の配布を同日開催

5月17日、産業文化会館南側芝生広場で軽トラ朝市と緑のカーテン用の苗の配布が行われました。

手ごろな価格で地元の新鮮な農産物を手に入れることができるとあって、毎回大人気の軽トラ朝市。会場は販売開始と同時ににぎわいを見せていました。また、同時刻に実施された緑のカーテン用の苗の配布は、今年で4回目となります。「夏の省エネ対策として緑のカーテンを設置し、エコな生活を送ろう」と高い意識を持った方が会場を訪れ、配布開始前から長い列を作っていました。来場者は、地球温暖化防止と地産地消への意識を同時に高めることができたようです。

